

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 6 年 5 月 17 日(2024.5.17)

【公開番号】特開 2023-153369(P2023-153369A)
【公開日】令和 5 年 10 月 17 日(2023.10.17)
【年通号数】公開公報(特許)2023-195
【出願番号】特願 2023-136441(P2023-136441)
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 6 年 5 月 9 日(2024.5.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

始動入賞口が設けられた遊技領域を有する遊技盤と、

遊技者の遊技によって遊技球が前記始動入賞口へ受け入れられた際に前記遊技球の受け入れに応じて実行されえる特別抽選の結果を示唆する表示演出が表示可能とされた表示装置と、

遊技者の遊技によって動作可能とされた可動体と、を備える遊技機であって、前記遊技領域を有した前記遊技盤の下方位置には、遊技者による操作を受付可能な操作手段が設けられており、

前記操作手段は、遊技者による第 1 操作が受付可能とされた第 1 操作部と、前記第 1 操作部に対する前記第 1 操作と異なる第 2 操作が遊技者により受付可能とされた第 2 操作部と、を有し、

30

遊技者の遊技によって動作可能とされた前記可動体は、前記遊技盤の下方位置に設けられた前記操作手段が有する前記第 1 操作部に対する遊技者の前記第 1 操作によって動作可能にされているとともに、遊技者の前記第 1 操作の操作量が増加することに応じて動作速度が高まるようにされ、

前記第 1 操作部に対する前記第 1 操作によって前記可動体が動作している状態において、前記操作手段が有する前記第 2 操作部に対する前記第 2 操作が遊技者により行われると動作中の前記可動体は、動作速度にかかわらず動作が停止され、

前記表示装置において第 1 演出が実行されているときに、前記操作手段が前記第 1 操作を検出した後、所定の条件が満たされると、前記表示装置にて第 2 演出が表示され、前記可動体を動作可能な前記第 1 操作部は、遊技者による前記第 1 操作として回転操作を受付可能にしており、回転操作は初期位置から所定位置まで可能にされており、所定位置を越えた回転操作を不能にしている

40

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

50

【 0 0 0 7 】

手段 1 :

始動入賞口が設けられた遊技領域を有する遊技盤と、
遊技者の遊技によって遊技球が前記始動入賞口へ受け入れられた際に前記遊技球の受け入れに応じて実行されえる特別抽選の結果を示唆する表示演出が表示可能とされた表示装置と、
遊技者の遊技によって動作可能とされた可動体と、を備える遊技機であって、
前記遊技領域を有した前記遊技盤の下方位置には、遊技者による操作を受付可能な操作手段が設けられており、
前記操作手段は、遊技者による第 1 操作が受付可能とされた第 1 操作部と、前記第 1 操作部に対する前記第 1 操作と異なる第 2 操作が遊技者により受付可能とされた第 2 操作部と、を有し、
遊技者の遊技によって動作可能とされた前記可動体は、前記遊技盤の下方位置に設けられた前記操作手段が有する前記第 1 操作部に対する遊技者の前記第 1 操作によって動作可能にされているとともに、遊技者の前記第 1 操作の操作量が増加することに応じて動作速度が高まるようにされ、
前記第 1 操作部に対する前記第 1 操作によって前記可動体が動作している状態において、前記操作手段が有する前記第 2 操作部に対する前記第 2 操作が遊技者により行われると動作中の前記可動体は、動作速度にかかわらず動作が停止され、
前記表示装置において第 1 演出が実行されているときに、前記操作手段が前記第 1 操作を検出した後、所定の条件が満たされると、前記表示装置にて第 2 演出が表示され、
前記可動体を動作可能な前記第 1 操作部は、遊技者による前記第 1 操作として回転操作を受付可能にしており、回転操作は初期位置から所定位置まで可能にされており、所定位置を越えた回転操作を不能にしている
ことを特徴とする。

10

20

30

40

50